



**3**  
 2019

<b>主題 (2018/2019)</b>		
<b>国際会長</b>	Yes. we can change 「私たちは変えられる」	Courage to challenges 「挑戦への勇氣」
<b>アジア会長</b>	Action 「アクション」	With Pride and Pleasure 「誇りと喜びをもって」
<b>西日本区理事</b>	Let's Protect Cultivate what should be passed on to the Future 「未来に残すべきものを守り育てる」	
<b>中西部長</b>	「次代につなぐ夢と希望」	
<b>大阪クラブ会長</b>	Let's enjoy Y's life! 「楽しもうワイズライフ！」	

会長	脇本博
直前会長	牟大盛
副会長	清水汎
	利島正
書記	森嶋弘
会計	明村知三
ブリテン	北村知三
連絡主事	牟大盛
	清水汎

**【今月の聖句】**

「自分を愛してくれる人を愛したいところで、あなたがたにどんな恵みがあろうか。罪人でも、愛してくれる。また、自分によくしてくれる人に善いことをしたところで、どんな恵みがあろうか。罪人でも同じことをしている。」

ルカによる福音書 6章 32～33 節

**【聖句に寄せて】**

**田尻 忠邦**

愛するとは、「自分を愛してくれる人を愛する」ことではなく、「自分によくしてくれる人に善いことをする」ことではないからです。つまり愛することは、ギブ・アンド・テイクの行為ではないということです。見返りを期待してすることではないのです。

**【巻頭雑感】**

**清水 汎**

安倍首相とプーチン大統領の日ソ平和交渉は、北方領土もあり難航していますが、日ソの関係を過去に遡り考えたいと思います。

もともと北方領土、千島列島は日本固有の領土であり、樺太の南半分は、日露戦争の賠償で日本が勝ち取ったものであります。第2次大戦で日本が負け、それら全部をロシアが占領、自国の物にしたのであります。戦後日本の関東軍、民間人約70万人が捕虜としてシベリアに送られ、約10万人が死亡したとされています。シベリアから最後に帰還したのは昭和31年と言われています。シベリア三重苦として飢餓、重労働、極寒があります。黒パン1枚、塩スープ1杯で伐採、鉄道工事、炭鉱等の重労働、零下30度前後の極寒の中、長時間のノルマのある労働をさせられたのであり、帰国後、大半の方は体はボロボロになり亡くなっています。

ロシアの日本への戦争も、米・英側との約束とは言え、日本との不可侵条約を破って日本に侵略したのはロシアであり、千島列島は戦後8月15日を過ぎて占領したものであり、当然、非はロシアにあるのですが、戦争に負けることは凄まじいものがあります。又、終戦時満州国には155万人の日本人がいましたが、ロシア軍、匪賊に暴行、略奪、強姦を受け、24万人の日本人が悲惨な状態で戦後亡くなっております。特に満蒙開拓民27万人は、老人婦女子の家庭が多く悲惨な戦後を迎えています。

戦後平和が続いているのも平和憲法もありますが、経済を優先し安全保障はアメリカに頼っていますが、経済も安全保障がなければ崩壊するものと知ること大事です。

### 【3月例会プログラム】 (JWF強調月間)

と き：2018年3月12日(火) 18:30～

ところ：土佐堀YMCA 101号室

会 費：ビジター 1000円

司会：田尻忠邦メン

1. 開会の鐘 脇本 博 会長
2. クラブソング
3. ゲストメネット紹介
4. 今月のみことば 田尻 忠邦 メン
5. 会長報告 脇本 博 会長
6. 「日々の糧」斉唱・晩餐
7. 会食
8. 講演： 「アジア学院の活動紹介」  
講師：荒川朋子（アジア学院アジア農村指導者養成専門学校校長）  
テーマ：東南アジア、アフリカの青年農村指導者を育成するため自給自足の有機農法を実践的に学ぶ
9. 誕生日・結婚記念日のお祝い・ニコニコ
10. インフォメーション
11. YMCAニュース
12. 閉会の鐘 脇本 博 会長

受付：藤岡、崔メネット

★今月の誕生日：條イサヨ（15）

★メネットさんお誕生日：該当者なし

★ご結婚記念日：森嶋弘明（21）、植野正弘（21）

### 【第2例会のご案内】

と き：2019年3月19日(火) 19:00～21:00

ところ：大阪土佐堀YMCA会館 701号室

(変更になることもあります)

## 【2月出席状況】

区 分	在籍数	出席数 (%)	メネット	ビジター ゲスト
正会員	14	9 (64.3)	1	1
広義会員	2	0	0	
計	16	9	1	1

☆ニコニコ献金； 9,500円

年賀切手（地域奉仕事業）： 清水（汎） ¥1,296.-（¥144.-×9枚）

★メネット；脇本真知子メネット会長

★ビジター；なし

★ゲスト（講師）；鍛冶田千文様（YMCA 学院高等学校長）

## 【2月例会報告】

脇本 博

藤岡メンの流暢な司会で、開会点鐘からクラブソング斉唱、ゲストメネット紹介、会長報告、日々の糧斉唱と流れるように会は進行し、会食となりました。Time of Fast 月間にあたり夕食はサンドイッチとお茶でした。

今月はYMCA学院高等学校校長、鍛冶田千文先生をお迎えし、「不登校・学校になじめない子について」というタイトルで御講演いただきました。

不登校の原因はいろいろあります。交遊関係の破綻、いじめ、教員との人間関係の齟齬、家族間の問題、子供自身の性格の問題、子供達が不登校になる原因は皆同じではありません。個人個人皆異なります。従って一方通行の教育では、ますます学校になじめず、不登校になっていきます。それぞれの子供達と個別に向き合い、その子にあった対応をすることが大事とのことです。テレビニュースのビデオを供覧しました。不登校だった高校生のYMCA学院高校の卒業式での様子です。とても感動しました。不登校だった子がYMCA学院高校に入学（転校？）してきました。前の学校ではコミュニケーションがうまくとれず、不登校になってしまいましたが、YMCA学院高校へ来て無事に課程を終え卒業となりました。その子は「お父さん、お母さんありがとう、私も辛かったけれど、今こうして皆と楽しく高校時代を過ごせて、卒業できました。」ご両親は「良くやったね。頑張ったね。卒業できて良かったね。」と親子で歓喜の涙をながす姿を見て、こちらもついもらい泣きしそうになりました。この卒業生に限らず、皆自分を取り戻し巣立っていかれるのを見て、YMCA学院高校の教育法の素晴らしさを感じました。以上の鍛冶田先生のお話のなかで特に「不登校の子供達は、皆自分自身でも悩んでいるのです。子供達は皆、素晴らしい力を持っています。子供達も自ら成長したいと願っているのです。個々への対応が大切です。卒業生のなかにも学問の世界でリーダーになるような人材が生まれつつある。」とのお言葉が大変印象にのこりました。

以下私見になりますが、教育とは良き社会人を育て、社会に奉仕する人を育てるパブリックな行為であると喝破した著名な教育学者がいます。しかし、不登校で公立学校から逸脱し、公教育から見放されている子供達も、またその子の親にとっても、よるべき所がありません。日本の公立学校の限界を露呈している

るように思います。それは学校の責任ではなく社会全体がそのような状況を作りだしているのかも知れません。

新聞によると公教育の現場は大変なようです。いじめの問題、親からの過大な要求など、先生方はその対応に追われ本来の教育に情熱を注げない状況にあるようです。スクールロイヤー制度というものがあるが、最初はこれを耳にしたときロースクールの記事かと早のみこみしましたが、そうではなくて学校の諸問題に関して公平な第三者的な意見を述べる法律家を学校に配属し、政府はこの制度をもっと拡大する方針であるとの報道を見て驚きました。今の教育現場は我々の年代では信じられない状況になっているようです。

そのような意味で鍛冶田先生の学校では、個性を尊重し、子供自ら成長したいという願望を上手に引きだし、個人個人の個性や状況を把握し、それぞれにあった教育を施し立派な卒業生を世におくりだしています。社会のひずみから生じた問題で行政が解決できない隙間の大事な仕事を、YMCAならではの仕方の良い仕事をなさっていると感じました。教育について真剣に考えさせられる貴重で有意義で良質な時間をもつことができました。

続いて清水民雄メンの誕生日、小川メンのご結婚記念でスプーンをプレゼントしました。インフォメーション、YMCAニュースとしてはHHリーダー会が今年8月の国際HHキャンプの準備に始動したことで、プレキャンプとして国内で1日キャンプするとの報告がありました。ウナギの森の植樹、さらにはパサデナのジェフ会長から今年は日本の学生を受け入れると連絡がありました。お名残惜しく閉会となりました。



## 【2月第2例会・役員会報告】

日 時：2018年2月20日（火） 19:00～20:30

場 所：土佐堀YMCA 701号室

出席者：脇本博会長、北村知三、牟 大盛、田尻忠邦、濱添吉生

協議事項：

- 1) 3月例会（JWF 強調月間）3月12日（火）18:30～ 土佐堀Y 101号室  
講 師：アジア学院理事、アジア農村指導者養成専門学校校長 荒川朋子氏  
テーマ：アジア学院の活動紹介・・・東南アジア・アフリカの青年農村指導者を育成するために自給自足の有機農法を実践的に学ぶ。  
謝 礼：1万円  
司 会：田尻忠邦メン
- 4月例会（YMCA サービス/ASF 強調月間）4月9日（火）  
講 師：関西NGO協議会事務局長 高橋美和氏  
テーマ：「関西におけるNGOのSDG ‘S’についての取り組み」

- 一 5月例会（LT強調月間）5月14日（火）  
 講師：日本聖公会大阪教区 磯 晴久主教  
 テーマ：「英国国協会が起こった歴史的背景について」
  - 一 6月例会（年間評価、次期計画）6月11日（火）  
 ＊毎月の例会で、「今月のみことば」をプログラムに入れることが決まった。  
 ＊クラブ月例会に、YMCAのスタッフや教員など例会参加希望者を募集招待する。
- 2) その他協議事項
- ① 他クラブ周年記念  
 今年創立70周年を迎える熊本クラブ（8月）と和歌山クラブ（12月）の両クラブについて、大阪クラブ90周年記念では両クラブ共ご祝儀をいただいたので、相応の返礼をすることが決まった。
  - ② 部会・イベント（＊印は大阪土佐堀YMCA行事）の件；  
 一5月11日（土）なかのしまクラブ・センテニアルクラブ合同ファミリーコンサート  
 一5月12日（日）「ウナギの森植樹祭」  
 一6月1日（土）～2日（日）東日本区大会 場所：国立オリンピック記念青少年総合センター  
 一6月22日（土）～23日（日）西日本区大会 場所：ロームシアター京都/ウェスティン都H  
 一7月19日（金）～21日（日）アジア太平洋地域大会 場所：仙台国際センター  
 一8月3日（土）～9日（金）HH国際キャンプ 場所：クアラルンプール、ペナン
  - ③ ブリテン編集の件では、例会報告担当者が、3月濱添連絡主事、4月脇本会長、5月清水（汎）メンに決まった。
  - ④ 8月にクアラルンプールで行われるHH国際キャンプについて報告があり協議された。  
 ・1月30日（水）にHHリーダー会がもたれ、3月30日（土）HH国内キャンプ準備会がもたれることが決まっていること。  
 ・国際HHキャンプに、4月から一般募集をかけるが、キャンパー募集目標人数、登録価格設定など検討中であること。
  - ⑤ パサディナクラブ交換留学生について、1月初旬にパサディナクラブ会長から、「今年は当クラブが交換留学生を受け入れる年であり、そのつもりで居ります」旨のメールが入っていることの報告があった。派遣留学生については、藤岡メンのコメントが第1候補にあがっている。
  - ⑥ 次次期以後の会長、中西部役員について、話し合われた。
  - ⑦ 3月18日（月）に大阪YMCAのこども食堂「上田キッチン・Y」が実施されることになっており、ワイズメンズクラブからの支援を望まれている、との知らせを受け、支援金5千円をクラブから献金することが決まり、役員会でYMCAに渡された。
  - ⑧ 西日本区各事業への送金は例年通り事業目標に沿った金額で献金を行うことが決まった。

## 【YMCAチャリティボウリング報告】

牟 大盛

2月2日午後5時から、例年のYMCAチャリティボウリングが開催されました。今年もHHリーダー会1組4人を大阪クラブから支援がありました。

当日は、YMCAの職員、留学生、そしてワイズメンの面々40名以上が集いました。残念ながら、HH

リーダー会の会員の皆さんは、都合により参加がかなわず、臨時に藤岡メン、大阪Yの職員の林貴子さん、高木瞳さんと小生の4人1チームで組みました。

土佐堀クラブの工藤義正メンの始球式で各自2ゲームの試合開始です。試合形式は、個人戦と共にチーム戦との事です。第1ゲームが終了した段階で、なんと我がチームの総合点数がトップでした。しかし第2ゲームでは、4人全員の本来の実力が出たせいか、惜しくも、参加することに意義がある結果となりました。毎年実施されますが、今年は歌手の桑田佳祐さんの「レッツゴーボウリング」の歌が流行しているせいもあり、過去にもまして最高の参加人数でした。

YMCAでは、クリスマス献金や、チャリティラン、そしてチャリティボウリングと数多くのチャリティ行事を行っています。今年は、年末頃に次期中西部キャビネットでは共催のチャリティ・ゴルフを予定しています。あらゆる機会を通じまして、チャリティ基金は勿論、ワイズとしましてはEMCへとつながると希望しております。



## 【中西部メネットアワー 交流会報告】

メネット会 脇本 真知子

中西部メネットの交流会が2019年2月9日(土)、大阪木材仲買会館で開催されました。メネット主催の坂本千春さん、遠藤西日本区理事、谷中西部長のご挨拶があり、続いてNPO法人西淀川子どもセンター代表理事、西川奈央人の講演がありました。

地域ぐるみの子ども支援を目指してひとり親や貧困家庭における子供の孤立などの問題に対して、子ども自身が自分のことを気楽に話せる「場」や「人」などを被害者である子供に提供する機会を増やすことを目的として、「一諸にご飯を食べる」、「子供と親の相談室」、「絵本や本などの貸し出し」などのいろいろなプロジェクトを通じて、児童虐待行為の防止などに心を砕いて活動されている様子をプロジェクターやTVの取材の模様など紹介しながら講演されました。最近では千葉で発生した児童を死に至らしめるような酷い児童虐待事件があり、本当に心が痛みます。私たちも子供たちの問題にも心を寄せていかなければと考えさせられました。

昼食は崔メネットさんの食前感謝のお祈りあと、西クラブの清水メンの御次男さんのご紹介でベトナムコーヒーとベトナムサンドイッチ(バインミー)を頂きました。当日、参加者の献金で6万円余りの浄財が集まり、NPO法人西淀川子どもセンターに贈る事ができました。「一人親の子供や親による虐待などによって放置され、どこにも遊びに連れて行って貰ったことのない子供たちを、夏休みに1日でも良いからどこかに連れて行って遊ばしています。」と西川代表理事のお言葉がありました。

奉仕事業にはいろいろなやり方があると思います。大きな一つ目的をもって、何年も継続するような事業では相当の労力と資金を要します。奉仕とはそのような形態が望ましく、毎年奉仕の対象が変わるよう

では果たして効率の良いご奉仕ができるのか疑問を持っていましたが、代表理事のお話を聞いてこのような少額で単発の事業でも、たとえ一日でも子供たちに「決して君一人ではないんだよ。君のこと大事に思っているよ。」と恐怖と孤独感に苛まれている子供たちに温かいメッセージを送ってやれることができ、たとえ1回きりで少額でも、大変意義のある遣いかたがあるものだとご奉仕に対する認識を新たにしました。西クラブのメネットさん達が色々お手伝いをしてくださりありがとうございました。

大阪クラブから北村メン、牟メン、崔メネット、脇本メネットが参加しました。



### 【大阪YMCAニュース】

濱添 吉生

☆第311回早天祈祷会☆

日時...2019年3月15日(金) 7:30~8:30

証し...藤岡 宏樹さん(大阪YMCA 英語幼稚園園長)

場所...大阪YMCA会館 10階チャペル

### 【ワイズ川柳コーナー】

私の作品を含め川柳コーナーを設けました。遠慮なしに投稿下さい。

新元号 ともに 心を あらため	ときめき 人の心を 動かせる	美人医 に 脈も乱れる 高齢者	青信号 安全渡 る 人生 に	人生 の 回る運命 走馬燈	毎月 の マンスリーレター ワイズ の輪
--------------------------	----------------------	--------------------------	----------------------------	------------------------	----------------------------------

## 【編集後記】

亥の歳は、いろいろと変事があると言われていました。私も平穏な時を過ごせるよう祈りたいのですが、周辺の国とも問題が起こりそうな、経済も不安定な感じがします。時代が変わる現象が出ているような気がします。皆さんの集会が楽しい集会となるよう祈っています。

(編集委員：清水 汎)